

編集後記

最近いろいろな事務局のお手伝いをさせていただくことが多くなってきました。それでも学会誌の編集は初めての経験で、読み手からの立場の変わり様には戸惑うことが多く、要領を得ずしてご迷惑をおかけすることが多々ある状況です。編集を含めこの学会での作業や仕事を経験して思うことは、意外と自分は事務仕事が嫌いではないということでした。ただし、単なる作業ではなく、仕事としてこなすことの大切さや難しさはどのようなことにでも共通し、嫌いではないだけでは務まらないことを痛感させられます。そんな仕事では、それなりの立ち振る舞いをされている方を見ると大変勉強になります。これまでの日常にこの勉強しながらの仕事が加わるとてんやわんやになってひどく疲れることもあります。疲れてぼうっとして思い浮かぶのは、それなりの立ち振る舞いをされている方の姿です。最近、その姿から感じたものは姿勢の大切さでした。姿勢には体の

様子など目に見えるものと内面で表される見えないものがあります。双方共に理にかなうものには美しいと思わされます。美しい姿勢からは美しい所作が生み出され、これを受けると自身もそれ相応に仕事を返したいと思うようになります。大げさかもしれませんが、人の中で仕事をさせてもらうというのはそう思って然るべきことなのでしょう。

姿勢の大切さは、仕事をするときにだけ感じるものではありません。立つ、座る、寝るなど、全ての動作に必要です。気分転換に泳ぐ、漕ぐ、走るときには特にそれを感じ、姿勢を疎かにすると致命的にさえなりうることを知らされます。結局はすべての動作に対して理にかなう姿勢（筋のつかいかた）があり、その心得は生命の維持（疲労）に関わるほどの差を生じさせるのです。これを内面に置き換えるのでしょうか、全ての所作に対して理にかなう姿勢（気のつかいかた）があり、その心得は人付き合いの維持（人望）に関する差を生じさせる、でしょうか。（高橋和生）

プラズマ・核融合学会役員

会 長	二宮 博正	副 会 長	斧 高一(推薦委員長：研究所助成)	小森 彰夫(推薦委員長：学会賞)
常務理事	室賀 健夫(総務委員長)			
理 事	安藤 晃(企画委員長)	石原 修(研究部会連絡委員長)	上杉 喜彦(支部・地区研究連絡会委員長)	
	甲斐 俊也(財務委員長)	草間 義紀	佐々木浩一	
	清水 克祐	白神 宏之	白谷 正治(年会運営委員長)	
	豊田 浩孝	永津 雅章(広報委員長)	福山 淳	
	堀池 寛	米田 仁紀(編集委員長)		
監 事	市村 真	中澤 一郎		

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：米田仁紀(電通大) 副委員長：豊田浩孝(名大)

エディタ：安藤 晃(東北大)、坂本瑞樹(筑波大)、中村祐司(京大)、長友英夫(阪大)、小西哲之(京大)、佐々木浩一(北大)

編集委員：石田 學(JAXA)、井 通暁(東大)、岩本晃史(核融合研)、内田儀一郎(阪大)、浦野 創(原子力機構)、大場恭子(東工大)、落合謙太郎(原子力機構)、笠田竜太(京大)、梶村好宏(明石高専)、糟谷直宏(九大)、佐々木 明(原子力機構)、柴田裕実(阪大)、清水一男(静岡大)、城崎知至(広島大)、鈴木達也(長岡技科大)、高橋和生(京都工繊大)、徳沢季彦(核融合研)、成嶋吉朗(核融合研)、長谷川 純(東工大)、長谷川裕記(核融合研)、林 信哉(九大)、菱沼良光(核融合研)、古川 勝(鳥取大)、増井博一(九工大)、松浦寛人(大阪府立大)、籾内俊毅(阪大)、山田英明(産総研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第90巻第3号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

印刷 株式会社荒川印刷

一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

2014年(平成26年)3月25日

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,365円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。